

日刊 動労千葉

87. 8. 15
No. 2629

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

出向反対は投票用紙に『○』を

17日より投票スタート 100%確立で出向にトドメを

これまで六回にわたって「スト権確立へ」を掲載してきたが、今回は、シリーズ最終回として、「一票投票について」を掲載する。強制出向があまりにも不法不当であることがこれまでのシリーズで明らかになってきたが、この出向攻撃へのトドメとしてスト権一票投票を圧倒的に成功させよう。

スト方針が当局をおいつめている

いよいよ月曜日から、スト権一票投票がはじまる。強制出向攻撃に対しては、ストライキを辞さず闘いぬくという動労千葉の断固とした闘いの方針が確実に当局をおいつめている。

六月の第一次発令につづいて、七月一日付、八月一日付で発令してきた強制出向攻撃が九月一日付（八月中旬事前通知）では結局強行できないのである。理由は明らかである。第一に、強制出向攻撃のあまりの不当・不法性が、全社会的に明らかになれば、JR当局への批判が集中していること。そして第二に、動労千葉が断固とした闘いの方針を決定し、総反撃に起つことを宣言したことによって当局は、躊躇せざるを得なくなっているのである。

東日本で、すでに三次にわたって四〇〇名もの強制出向がおこなわれているにもかかわらず、何故千葉だけ実施できないのか。明らかに、動労千葉の存在が当局に制動をかけているのである。スト権投票の一〇〇%確立で、更に当局をおいつめよう。

出向攻撃の二つの弱点

本人の同意のない強制出向攻撃には、二つの弱点がある。ひとつは、これがあらゆる意味において、合理的な根拠のない違法行為であるという点である。もう一点は、JR内の強制配転と違い、出向先の企業が存在するという点である。どこにも不屈に闘う姿勢を貫く動労千葉の組合員を採用したいと思う企業などありはしないのだ。更にわれわれは、スト権投票の一〇〇%達成で、誰ひとり出向に賛成している者などいないのだ、という現実をたたきつけなければならぬ。これこそが、強制出向を粉砕する力となるのだ。スト権一〇〇%確立で、動労千葉の人間を出向に出したら大変なことになるぞ、ということを出向にも、出

向先企業に対してもつきつけよう。

それでも尚かつ強行するのであれば、われわれは断固闘うのみである。あえて受け入れを認めない出向先企業も当局も連日連夜の抗議闘争の嵐を覚悟しなければならぬであろう。

スト権確立が大きな威力を発揮

国鉄の分割・民営化強行によってわれわれが、スト権を得たということは、ストライキを理由として一切の処分や五%カットなどの不利益扱いはできないということである。これは法律上明記されているのである。しかし、そのスト権の確立のために投票が義務づけられている。それさえ実施していれば、一切の不利益扱いはできないのである。だから、スト権投票の高い比率での確立は、それ自身が大きな威力をもつものになるのだ。逆に重大な攻撃をしかけられながら、スト権投票を実施しないとすれば、事実上、あらかじめ闘いを放棄し、認めてしまうことにも等しくなってしまうのである。スト権一〇〇%確立こそ出向粉砕の力、出向に反対する人は全員投票用紙に「○」を！

スト権一票投票の実施について

- 一 日程
 - 投票 八月十七日（月）～二十三日（日）
 - 開票 八月二十四日（月）
- 二 投票
 - ① 所定の用紙に、ストライキ実施賛成は「○」反対は「×」を記入し、支部投票管理委員会の指定する投票箱に投票する。
 - ② 各日の投票時間は支部投票管理委員会で指定する。
- 三 開票
 - ① 八月二十四日、十三時より、動力車会館で行う。各支部一人が立ち会うこととする。
 - ② 結果は、開票終了次第発表する。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！